

「第5次総合計画改定基本計画（後期基本計画）」の概要

網掛け・下線のものは、前期計画から変更したものの

第1章 策定の趣旨
基本計画の前期5年が終了することから、後期5年間の計画の具体化を図るため、改定を行うもの

第2章 総合計画の構成と基本計画の期間
基本計画の期間
平成25年度から平成29年度

基本構想
目標年次 平成34年

基本計画
前期 H20~24 後期 H25~29

第3章 社会経済の見通しと市民意識の現状

- 総人口：平成27年にピーク（約51万6千人）、その後減少
- 年齢別人口：老年人口の構成比は増加（H22:19.7% H29:24.7%）、年少人口は減少（H22:14.2% H29:13.9%）、生産年齢人口は減少（H22:66.0% H29:61.4%）
- 世帯数：今後も増加（H22:210,240世帯 H29:220,369世帯）、一世帯当たり人員数は減少（H22:2.43人/世帯 H29:2.34人/世帯）
- 就業人口：全体的に減少（H22:241,950人 H29:233,471人）
- 市内総生産：緩やかに減少

第4章 時代潮流とまちづくりの重点課題

1 時代潮流
少子・超高齢社会、人口減少の時代
地球環境問題の深刻化の時代
ポスターレス社会の進展の時代
人間回帰の時代
分権型社会の進展の時代

2 まちづくりの重点課題
子育て支援の充実
高齢者の生活の質の向上
安全で安心な生活環境の創出
環境調和型社会の構築
総合的な交通体系の確立
魅力ある拠点の創出
都市の個性づくりと発信
次代を築く人材の育成
産業力の強化
地域が主体となったまちづくり

※後期基本計画期間中に顕著になると考えられる社会潮流の変化

- 人口減少局面への突入と、人口構造の変化
- 家族や地域の変容
- 地域産業・経済を取り巻く状況の変化
- 安全・安心して環境にやさしい都市づくりへの要請の高まり

第5章 まちづくりの目標

- 輝く希望と笑顔にあふれた「みんなが幸せに暮らせるまち」
- 独自の存在感と風格を備えた「みんなに選ばれるまち」
- まちづくりの仕組みが整い、みんなでまちをつくる活力にあふれた「持続的に発展できるまち」

将来のうつつのみや像（都市像）
「くらしいいき まちキラキラ つながる人 夢のみや うつつのみや」の実現

第6章 都市空間形成の方針

- 市街地の無秩序な拡大を抑制するなど土地利用の適正化を図り、都市と自然が調和する土地利用を目指す
- 各拠点の機能や役割分担の明確化、都市機能の質や機能性の向上など、拠点化を促進
- 地域の拠点間の機能連携・補完、他圏域との広域的連携のための軸の形成・強化などネットワーク化を促進
本市の持続的発展のための都市空間のあり方として、「ネットワーク型コンパクトシティ」を長期的に形成

第7章 まちづくり戦略プロジェクト・・・詳細は「別紙」のとおり
まちづくりの重点課題を解決するため、後期5年間で重点的に展開する10の戦略プロジェクトを設定し、三つの戦略プランとして体系化

- プロジェクト 1: 子どもたちの“笑顔の輪”拡大プロジェクト
- プロジェクト 2: からだ元気！こころ豊かに！健康長寿応援プロジェクト
- プロジェクト 3: “安全社会・安心生活”創出プロジェクト
- プロジェクト 4: ひとや自然にやさしい“環境都市”実現プロジェクト
- プロジェクト 5: まちの骨格となる交通体系確立プロジェクト
- プロジェクト 6: 50万都市の中核機能・交流機能強化、活力向上プロジェクト
- プロジェクト 7: 都市ブランド確立・アピールプロジェクト
- プロジェクト 8: 高い志を持って、未来へ羽ばたく“宮っ子スピリット”養成プロジェクト
- プロジェクト 9: 産業力底上げ“未来産業創造”プロジェクト
- プロジェクト 10: みんなでつくる“大好き地域”実践プロジェクト

“幸せ力”アップ戦略プラン
“ブランド力”アップ戦略プラン
“底力”アップ戦略プラン

第8章 分野別計画 6つの柱、25の基本施策

- 市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために
 - 1 保健・医療サービスの質を高める
 - 2 高齢期の生活を充実する
 - 3 障がいのある人の生活を充実する
 - 4 愛情豊かに子どもたちを育む
 - 5 都市の福祉力を高める
 - 6 日常生活の安心感を高める
 - 7 危機への備え・対応力を高める
- 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために
 - 17 地域産業の創造性・発展性を高める
 - 18 商工業の活力を高める
 - 19 農林業の付加価値を高める
 - 20 魅力ある観光と交流を創出する
- 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために
 - 21 機能的で魅力のある都市空間を形成する
 - 22 円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する
- 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために
 - 8 生涯にわたる学習活動を促進する
 - 9 信頼される学校教育を推進する
 - 10 個性的な市民文化・都市文化を創出する
 - 11 生涯にわたるスポーツ活動を促進する
 - 12 健全な青少年を育成する
- 市民の快適な暮らしを支えるために
 - 13 脱温暖化・循環型の環境にやさしい社会を形成する
 - 14 良好な水と緑の環境を創出する
 - 15 上下水道サービスの質を高める
 - 16 快適な住環境を創出する
- 持続的発展が可能な都市の自治基盤を確立するために
 - 23 市民が主役のまちづくりを推進する
 - 24 行政経営基盤を強化する
 - 25 市民の相互理解と共生のこころを育む

第9章 計画の着実な推進に向けて
各施策の実効性を高めるため、各施策分野における個別計画などを策定
総合計画実施計画と行政評価、中期財政計画、予算の連携により、総合計画全体を着実に推進
市民満足度指標を設定し、市民の評価やニーズの変化を把握。施策指標などとあわせ、総合的に達成状況を把握し計画を推進 84施策ごとに市民満足度を把握

まちづくり戦略プロジェクト

網掛け・太字のものは、前期計画から変更したもの

プロジェクト1 子どもたちの"笑顔の輪"拡大プロジェクト		
安心して子どもを生き育て、親と子が共に成長することができる環境を創出する。		
主な指標	現状値	目標値
子育てに不安や負担を感じている人の割合	(H24) 51.4%	(H29) 37.8%
地域での活動に取り組んでいる児童の割合 (中学1年生)	(H23) 45.2%	(H29) 57.6%
児童虐待取扱件数に対する終結件数の割合	(H23) 44.9%	(H29) 60.0%
仕事と子育ての両立支援の充実(保育所・認定こども園等の整備促進、ニーズに対応した保育サービスの充実) 妊娠・出産に対する支援、子どもの健康支援の充実(妊婦一般健康診査の充実、不妊治療費助成の充実、こども医療費助成制度の充実、障がい児発達支援ネットワークの推進など) 地域における子育て・子育て支援の充実(青少年の居場所づくり事業の充実、宮っ子ステーション事業の推進、子育てサロンの機能強化) 家庭教育支援の充実 (親学の推進、家庭教育サポーターの養成、家庭教育に関する意識啓発事業の充実など) 児童虐待発生予防の充実 (地域の見守り体制の整備、虐待の恐れのある家庭の早期発見と支援、児童虐待防止の周知・啓発など) 青少年の相談機能の充実 (個別支援計画による継続性・一貫性のある支援、関係機関との連携による適切な支援)		
プロジェクト2 からだ元気!こころ豊かに!健康長寿応援プロジェクト		
子どもから高齢者までの健康づくりを推進し、高齢期を迎えても元気に暮らしていける環境を創出する。		
主な指標	現状値	目標値
健康寿命(自立して健康に生活できる期間)	(H22)男78.47歳 女83.16歳	(H29)平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
介護認定を受けていない高齢者の割合	(H23) 85.1%	(H29) 86.3%
高齢者がボランティア活動へ参加している割合	(H22) 10.0%	(H29) 13.0%
地域における健康づくりの推進(地域の健康づくり実践活動の推進、食育の実践の推進) 生活習慣病(がん・糖尿病等)の発症予防・重症化予防の推進 (受診しやすい健診体制の充実、健診データ等に基づく生活習慣病予防対策の推進など) 認知症高齢者等対策の充実 (介護予防教室の充実、認知症に関する正しい知識の周知啓発の推進、医療・介護・福祉が連携したケア体制の充実) 地域で安心して暮らせる環境の充実 (地域福祉ネットワークの形成支援、孤立死の防止対策の推進、在宅医療を含む地域療養支援体制の整備など) 高齢者の社会参画の促進(高齢者の外出支援、高齢者の就業支援、交流の場や交流機会の提供など)		
プロジェクト3 "安全社会・安心生活"創出プロジェクト		
日常生活における様々な危険や不安を減らし、安全で安心な生活環境を創出する。		
主な指標	現状値	目標値
住宅の耐震化率	(H23) 84.1%	(H29) 90.0%以上
老朽配水管更新率	(H23) 71%	(H29) 100%
交通事故発生件数	(H23) 2,535件	(H29) 1,800件以下
地域防災体制の強化 (ICT等を活用した情報伝達体制の確立、備蓄体制の充実強化、防災教育の推進、災害時要援護者対策の充実) 耐震化事業の推進(民間住宅の耐震化の促進、学校施設の耐震化の推進、橋りょうの長寿命化・耐震化の推進など) 食の安全安心の推進 (食品による健康被害の未然防止の推進、地産地消の推進) 地域の防犯環境整備の推進(「空き家対策」等の推進、効率・効果的な「防犯灯」の設置促進など) 安全な交通環境整備の推進 (交通安全施設の整備、自転車走行空間の整備、各世代に対応した交通安全教育の推進、自転車利用者への交通安全教育の推進)		
プロジェクト4 ひとや自然にやさしい"環境都市"実現プロジェクト		
市民一人ひとりの環境に配慮した行動の実践などによる"環境と調和したまち"を形成する。		
主な指標	現状値	目標値
家庭版環境ISO認定家庭数	(H23) 1,661世帯	(H29) 5,000世帯
住宅用太陽光発電システム設置家庭数	(H23) 4,196世帯	(H29) 13,000世帯
市民1人1日あたり資源物以外のごみ排出量	(H23) 806g/日	(H29) 725g/日
"もったいないうつのみや"の推進(もったいない運動の推進、環境にやさしいライフスタイルの推進) 緑豊かな宇都宮の推進(都市緑地の保全・活用、中心市街地の緑化推進) 再生可能エネルギーの利活用の推進(太陽光発電システム等の設置促進) ごみの資源化事業の推進(市民協働による生ごみの資源化の推進、廃食用油・剪定枝等の資源化事業の推進など) 廃棄物処理施設の計画的・効率的な整備の推進 (中間処理施設の整備、最終処分場の整備)		
プロジェクト5 まちの骨格となる交通体系確立プロジェクト		
総合的な公共交通体系の確立により、誰もが移動しやすい交通環境を創出する。		
主な指標	現状値	目標値
年間公共交通利用者数	(H22) 30,713千人	(H29) 40,589千人
自転車走行空間の整備延長	(H23) 14.5km	(H29) 30.9km
都市計画道路の整備率	(H24) 67.5%	(H29) 73.1%
新交通システム(LRT)の導入(事業実施計画の策定、事業運営主体の選定、施設整備など) バス路線の充実(赤字バス路線に対する支援、バス路線の新設・拡充に向けた社会実験の実施、公共交通利用環境整備(バス停への上屋・ベンチの設置等)の促進、効果的な利用促進策の実施) 地域内交通の充実(導入に向けた地域への取組支援、持続可能な運行に向けた地域への取組支援) 自転車のまち宇都宮の推進 (自転車走行空間の整備、サイクルステーションの充実) 既存鉄道の利便性向上の促進(岡本駅等の駅機能強化、既存鉄道におけるバリアフリー整備の促進など) 幹線道路・スマートICの整備(産業通り、宇都宮日光線、みずほの通り等の整備、新たなスマートICの設置)		

プロジェクト6 50万都市の中核機能・交流機能強化，活力向上プロジェクト

市民の暮らしや活動に合わせたさまざまな拠点を形成し，都市の活力向上を図る。

主な指標	現状値	目標値
人口集中地区（DID）人口	（H22）384,583人	（H29）392,000人
都市拠点（市内中心部）の通行量（平日）	（H23）103,880人	（H29）110,000人
中心商業地の空き店舗数	（H23）123店舗	（H29）100店舗

J R宇都宮駅周辺地区整備の推進（宇都宮駅東口地区整備の推進，宇都宮駅西口周辺地区整備の推進）
 市街地再開発事業の推進（宇都宮大手地区市街地再開発事業，宇都宮バンバ地区市街地再開発事業，宇都宮千手・宮島地区市街地再開発事業など）
中心市街地の賑わいづくりの強化（都心居住の推進，魅力ある中心商業地の創出）
 魅力ある都市景観づくり事業の推進（景観計画区域における建築物等に係る景観計画の届出制度の運用，景観形成重点地区の指定）
岡本駅周辺地域整備の推進（駅関連施設整備，駅西地区土地区画整理事業，駅東地区整備）

プロジェクト7 都市ブランド確立・アピールプロジェクト

本市が，独自の文化が薫る都市として，その個性を磨き上げ，全国にアピールするとともに，交流人口の増加を図る。

主な指標	現状値	目標値
宇都宮に愛着がある人の割合	（H23）63.7%	（H29）75.0%
「来てよかった」，「また訪れたい」と感じている来訪者の割合	（H23）44.6%	（H29）50.0%
年間入込客数	（H22）13,531千人	（H29）15,000千人

都市のブランド化の推進（宇都宮ブランド戦略の推進，農産物のブランド化推進）
 おもてなしのまち宇都宮の推進（市民のおもてなし意識の向上，おもてなし体制の充実，観光情報発信の充実）
地域資源を活用した戦略的観光事業の推進（観光資源の発掘と観光ルートの開発推進，コンベンション等の誘致強化，大谷地域観光の推進など）
 プロスポーツを活用した地域の活力と都市の魅力の創造（トップレベルのスポーツに触れる機会の創出，プロスポーツチームへの支援）

プロジェクト8 高い志を持って，未来へ羽ばたく"宮っ子スピリット"養成プロジェクト

次代の宇都宮を築き，新しい価値を創造しうる幅広い視野を持った人材を育成する。

主な指標	現状値	目標値
学習内容定着度調査における正答率（中学校3年生の国語，数学，英語）	（H23） 国語 80%以上 70.2%，50%未満 4.3% 数学 80%以上 70.1%，50%未満 13.1% 英語 80%以上 62.9%，50%未満 12.7%	（H29） 国語 80%以上 74.0%，50%未満 3.0% 数学 80%以上 80.0%，50%未満 7.0% 英語 80%以上 79.0%，50%未満 6.0%
いじめ解消率	（H23）96.9%	（H29）100.0%
新体力テスト総合評価A段階の割合（中学3年生）	（H23）22.0%	（H29）22.3%

確かな学力の定着（分かる授業の展開，キャリア教育の推進）
 豊かな心の育成（心を育む教育活動の推進，いじめゼロ運動の推進）
 健やかな体づくりの推進（体力向上の推進，食育の推進など）
 小中一貫教育・地域学校園の充実（小中一貫教育カリキュラムの実施・充実，相互乗り入れ授業の実施・充実など）
 特別な教育的支援を要する児童生徒に対する指導の充実（かがやきルーム(特別支援教室)における指導の充実，全教職員の特別支援教育に係る指導力の向上）
子どもの芸術活動・伝統文化への支援（体験講座・発表機会の充実，人材育成・普及啓発事業の実施）
青少年の自主的活動の創出促進（青少年による事業実施団体や活動団体の掘り起こし，継続的な事業実施のための組織づくりへの支援，関係団体や企業，NPO等との連携による青少年の活動への支援）
 学校教育支援の充実（魅力ある学校づくり地域協議会への支援充実，地域コーディネーターの確保・充実）

プロジェクト9 産業力底上げ"未来産業創造"プロジェクト

社会経済のポーターレス化・グローバル化などに対しても揺るぎのない，産業の持続的な発展を推進する。

主な指標	現状値	目標値
市内事業所数（製造業）	（H22）582社	（H29）640社
認定農業者数	（H24）660経営体	（H29）780経営体
起業家セミナー参加者数	（H23）72人	（H29）100人

イノベーションが期待される産業の育成（新産業創出支援事業の実施，産学連携・交流事業等の実施など）
 企業集積，立地の促進（企業誘致推進員の配置，助成制度(企業立地・拡大再投資等）・融資制度の充実など）
 高度技術開発の促進（高度な設備導入等の支援，知的財産の活用促進，経営・技術支援体制の充実）
 農業王国うつのみやの推進（意欲ある担い手の確保・育成，効率的な生産・出荷体制の確立，農産物のブランド化推進など）
産業を支える，多彩な人材の育成・確保（起業家の集積・成長支援，地域産業を担う人材の育成，ニーズに合った就業と雇用の実現，キャリア教育の推進）

プロジェクト10 みんなでつくる"大好き地域"実践プロジェクト

「人と人とのつながり」や「地域の絆」の醸成，社会総ぐるみによる人づくりの推進により，地域が主体となったまちづくり活動を促進する。

主な指標	現状値	目標値
まちづくりセンター及びボランティアセンターの登録団体数	（H24）348団体	（H29）600団体
自治会加入率	（H24）68.6%	（H29）70.0%
地域まちづくり計画推進地区数	（H24）14地区	（H29）39地区

まちづくり活動主体の連携・協力の促進（多様な活動主体が連携する機会と場の創出，協働を進めるコーディネート機能の充実）
 自治会活性化の促進（自治会の加入促進，自治会の集会所等の整備促進）
 地域が一体となったまちづくりの推進（地域まちづくり計画の策定の促進，地域まちづくり組織のコーディネート機能や事務局機能の強化）
地域で活躍する人材の育成（地域指導者等研修の充実，地域人材養成プログラムの充実など）
 地域行政機関の機能強化（市民生活に密着したサービスの充実，地域と行政を繋ぐ地域振興機能の強化，地域まちづくり拠点としての地域行政機関の施設整備）